

SCOPO0357 USOC

日 本 国 特 許 庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

JPO 069 U.S. PTO
09/614524
07/12/00

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて
る事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed
in this Office.

出 願 年 月 日
Date of Application:

1999年 7月13日

願 番 号
Application Number:

平成11年特許願第199477号

願 人
Applicant(s):

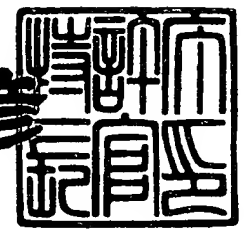
ソニー株式会社

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2000年 5月19日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

近 藤 隆 彦



出証番号 出証特2000-3037229

【書類名】 特許願

【整理番号】 9900273106

【提出日】 平成11年 7月13日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 H03M 7/00

【発明者】

【住所又は居所】 東京都品川区北品川 6 丁目 7 番 3 5 号 ソニー株式会社
内

【氏名】 佐藤 正彦

【特許出願人】

【識別番号】 000002185

【氏名又は名称】 ソニー株式会社

【代表者】 出井 伸之

【代理人】

【識別番号】 100067736

【弁理士】

【氏名又は名称】 小池 晃

【選任した代理人】

【識別番号】 100086335

【弁理士】

【氏名又は名称】 田村 榮一

【選任した代理人】

【識別番号】 100096677

【弁理士】

【氏名又は名称】 伊賀 誠司

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 019530

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9707387

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 記録及び／又は再生装置

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 記録媒体に記録されている信号を再生する再生手段と、
上記記録媒体に記録されているプログラム情報を取り込むプログラム情報取込手段と、

上記プログラム情報に基づいて、上記記録媒体から再生された信号を処理する
信号処理手段とを有する

ことを特徴とする再生装置。

【請求項 2】 上記プログラム情報取込手段は、上記記録媒体上に繰り返し記録されている上記プログラム情報を取り込む

ことを特徴とする請求項 1 記載の再生装置。

【請求項 3】 記録媒体に記録されている信号を再生する再生手段と、

上記記録媒体に付随して設けられ、プログラム情報を記憶する記憶手段から、
上記プログラム情報を読み取るプログラム情報読取手段と、

上記プログラム情報に基づいて、上記記録媒体から再生された信号を処理する
信号処理手段とを有する

ことを特徴とする再生装置。

【請求項 4】 入力信号に信号処理を施す信号処理手段と、

上記入力信号に施された信号処理に対する逆信号処理を行わせるためのプログラム情報を発生するプログラム情報発生手段と、

上記信号処理が施された入力信号と上記プログラム情報とを記録媒体に記録する
記録手段とを有する

ことを特徴とする記録装置。

【請求項 5】 上記記録手段は、上記プログラム情報を上記記録媒体上に繰り返し記録する

ことを特徴とする請求項 4 記載の記録装置。

【請求項 6】 入力信号に信号処理を施す信号処理手段と、

上記入力信号に施された信号処理に対する逆信号処理を行わせるためのプログ

ラム情報を発生するプログラム情報発生手段と、

上記信号処理が施された入力信号を記録媒体に記録する記録手段と、

上記記録媒体に付随して設けられた記憶手段に上記プログラム情報を記憶させるプログラム情報書込手段とを有する

ことを特徴とする記録装置。

【請求項 7】 入力信号に信号処理を施す第 1 の信号処理手段と、

上記入力信号に施された信号処理に対する逆信号処理を行わせるためのプログラム情報を発生するプログラム情報発生手段と、

上記第 1 の信号処理手段により信号処理が施された入力信号と上記プログラム情報とを記録媒体に記録する記録手段と、

上記記録媒体に記録されている信号を再生する再生手段と、

上記記録媒体に記録されている上記プログラム情報を取り込むプログラム情報取込手段と、

上記プログラム情報に基づいて上記記録媒体から再生された信号を処理する第 2 の信号処理手段とを有する

ことを特徴とする記録再生装置。

【請求項 8】 上記記録手段は、上記プログラム情報を上記記録媒体上に繰り返し記録し、

上記プログラム情報取込手段は、上記記録媒体上に繰り返し記録されている上記プログラム情報を取り込む

ことを特徴とする請求項 7 記載の記録再生装置。

【請求項 9】 入力信号に信号処理を施す第 1 の信号処理手段と、

上記入力信号に施された信号処理に対する逆信号処理を行わせるためのプログラム情報を発生するプログラム情報発生手段と、

上記第 1 の信号処理手段により信号処理が施された入力信号を記録媒体に記録する記録手段と、

上記記録媒体に付随して設けられた記憶手段に上記プログラム情報を記憶させるプログラム情報書込手段と、

上記記録媒体に記録されている信号を再生する再生手段と、

上記記録媒体に付随して設けられ上記プログラム情報を記憶する記憶手段から、上記プログラム情報を読み取るプログラム情報読取手段と、

上記プログラム情報に基づいて上記記録媒体から再生された信号を処理する第 2 の信号処理手段とを有する

ことを特徴とする記録再生装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、エンコードデータを記録媒体に記録する記録装置、記録媒体から再生されたエンコードデータをディジタルシグナルプロセッサ（DSP）を使用してデコードする再生装置、及びそれら両機能を備えた記録再生装置に関する。

【0002】

【従来の技術】

従来より、例えば磁気テープ等の記録媒体に記録されているエンコードデータを再生し、当該再生されたエンコードデータをDSPを使用してデコードするような再生或いは記録再生装置が存在する。

【0003】

図8には、記録媒体から再生したエンコードデータをDSPを使用してデコードする従来の再生装置の概略構成を示す。

【0004】

テープ再生部101には記録媒体としての磁気テープカセット102が収納されており、その磁気テープカセット103内の磁気テープにはエンコードデータが記録されている。当該テープ再生部101は、上記磁気テープカセット102内の磁気テープに記録されているエンコードデータを再生し、その磁気テープから再生された再生エンコードデータをDSP103に供給する。

【0005】

また、ROM（リードオンリーメモリ）105には、DSP103がエンコードデータをデコードするために必要なプログラムデータ（デコーディングソフトウェア）が記憶されている。コントローラ104は、DSP103でのデコード

開始前に、上記ROM105に記憶されているプログラムデータを読み出して、DSP103に供給する。

【0006】

DSP103は、上記ROM105から読み出されて上記コントローラ104から供給されたプログラムデータに基づいて、上記再生エンコードデータのデコードを行う。このDSP103にてデコードされたデータは、端子106から後段の構成に送られる。

【0007】

【発明が解決しようとする課題】

ところで、近年は、様々な異なるエンコード方式が登場してきており、また、従来から存在していたエンコード方式も例えば性能の向上等を目指してバージョンアップが繰り返されている。したがって、デコード方式も、それら様々な異なるエンコード方式やバージョンアップに対応する方式が必要となっている。

【0008】

しかしながら、上述したように、記録媒体から再生したエンコードデータをDSPを使用してデコードする従来の再生装置では、予めROMに記憶されているプログラムデータに基づくデコード方式にしか対応できない。なお、上記異なるエンコード方式や上記バージョンアップに対応したデコードを行えるようにするには、例えばROMを交換或いは内容の書き換えなどの方策が必要となるが、ROMの交換や内容の書き換えを行うためには、所定のサービスステーション等に再生装置を持参しなければならないなど、時間と費用がかかる。

【0009】

そこで、本発明はこのような状況に鑑みてなされたものであり、様々な異なるエンコード方式やバージョンアップされたエンコード方式によるエンコードデータであっても、簡単かつ低コストでデコードすることが可能な再生装置、再生装置にてそのようなデコードを実現可能とするための記録装置、及び、それら両機能を有する記録再生装置を提供することを目的とする。

【0010】

【課題を解決するための手段】

本発明の再生装置は、記録媒体に記録されている信号を再生する再生手段と、上記記録媒体に記録されているプログラム情報を取り込むプログラム情報取込手段と、上記プログラム情報に基づいて上記記録媒体から再生された信号を処理する信号処理手段とを有することにより、上述した課題を解決する。

【0011】

また、本発明の再生装置は、記録媒体に記録されている信号を再生する再生手段と、上記記録媒体に付随して設けられ、プログラム情報を記憶する記憶手段から、上記プログラム情報を読み取るプログラム情報読取手段と、上記プログラム情報に基づいて上記記録媒体から再生された信号を処理する信号処理手段とを有することにより、上述した課題を解決する。

【0012】

本発明の記録装置は、入力信号に信号処理を施す信号処理手段と、上記入力信号に施された信号処理に対する逆信号処理を行わせるためのプログラム情報を発生するプログラム情報発生手段と、上記信号処理が施された入力信号と上記プログラム情報とを記録媒体に記録する記録手段とを有することにより、上述した課題を解決する。

【0013】

また、本発明の記録装置は、入力信号に信号処理を施す信号処理手段と、上記入力信号に施された信号処理に対する逆信号処理を行わせるためのプログラム情報を発生するプログラム情報発生手段と、上記信号処理が施された入力信号を記録媒体に記録する記録手段と、上記記録媒体に付随して設けられた記憶手段に上記プログラム情報を記憶させるプログラム情報書込手段とを有することにより、上述した課題を解決する。

【0014】

本発明の記録再生装置は、入力信号に信号処理を施す第1の信号処理手段と、上記入力信号に施された信号処理に対する逆信号処理を行わせるためのプログラム情報を発生するプログラム情報発生手段と、上記第1の信号処理手段により信

号処理が施された入力信号と上記プログラム情報とを記録媒体に記録する記録手段と、上記記録媒体に記録されている信号を再生する再生手段と、上記記録媒体に記録されている上記プログラム情報を取り込むプログラム情報取込手段と、上記プログラム情報に基づいて上記記録媒体から再生された信号を処理する第2の信号処理手段とを有することにより、上述した課題を解決する。

【0015】

また、本発明の記録再生装置は、入力信号に信号処理を施す第1の信号処理手段と、上記入力信号に施された信号処理に対する逆信号処理を行わせるためのプログラム情報を発生するプログラム情報発生手段と、上記第1の信号処理手段により信号処理が施された入力信号を記録媒体に記録する記録手段と、上記記録媒体に付随して設けられた記憶手段に上記プログラム情報を記憶させるプログラム情報書込手段と、上記記録媒体に記録されている信号を再生する再生手段と、上記記録媒体に付随して設けられ上記プログラム情報を記憶する記憶手段から上記プログラム情報を読み取るプログラム情報読取手段と、上記プログラム情報に基づいて上記記録媒体から再生された信号を処理する第2の信号処理手段とを有することにより、上述した課題を解決する。

【0016】

【発明の実施の形態】

本発明の好ましい実施の形態について、図面を参照しながら説明する。

【0017】

図1には、本発明が適用される第1の実施の形態の再生装置の概略構成を示す。

【0018】

この図1に示す第1の実施の形態において、テープ再生部1には、記録媒体としての磁気テープカセット2が収納されている。

【0019】

上記磁気テープカセット内の磁気テープT上には、図2の(a)に示すような斜め記録トラックRが形成されており、各斜め記録トラックRは、図2の(b)に示すようなAUX(補助)データ領域r1とA/V(オーディオ/ビデオ)デ

ータ領域 r 2 とからなる。ここで、上記 A/V データ領域 r 2 には、例えばいわゆる M P E G (Moving Picture image coding Experts Group) 方式やデジタルビデオフォーマットなどによりエンコードされたオーディオ/ビデオデータ（例えば映像番組のデータなど）が記録されており、また、AUX データ領域 r 1 には、AUX データの一つとして、DSP が上記エンコードされた A/V データをデコードするために必要なプログラムデータ（デコーディングソフトウェア）が記録されている。

【0020】

テープ再生部 1 は、図 2 に示したような磁気テープ T 上の斜め記録トラック R に記録されているデータを再生し、DSP 3 とプログラムデータ抽出部 5 に供給する。

【0021】

プログラムデータ抽出部 5 は、テープ再生部 1 が磁気テープ T の斜め記録トラック R から読み取った再生データより、上記 AUX データ領域 r 1 に記録されているプログラムデータのみを抽出し、その抽出したプログラムデータをコントローラ 4 に送る。

【0022】

コントローラ 4 は、プログラムデータ抽出部 5 から供給されたプログラムデータを、DSP 3 に対して実装する。

【0023】

これにより、DSP 3 では、上記エンコードされている A/V データを、上記プログラムデータに応じてデコードすることが可能となる。当該 DSP 3 にてデコードされた A/V データは、端子 6 から後段の構成に送られる。

【0024】

なお、デコードプログラムは、複数トラックにまたがって AUX データ領域 r 1 に記録されてもよく、この場合、コントローラ 4 は、当該デコードプログラムが複数トラックにまたがっていることを判断して DSP 3 に連続したプログラムとして実装する。

【0025】

図3には、上述のように、磁気テープTの斜め記録トラックR上にエンコードされたA/Vデータと共にプログラムデータを記録する、本発明の第1の実施の形態の記録装置の概略構成を示す。

【0026】

この図3において、端子10にはエンコード前のA/Vデータが入力され、当該A/Vデータはエンコーダ11に送られる。

【0027】

エンコーダ11では、タイミングコントローラ16から供給されタイミング信号に応じて、上記A/Vデータを前述したように例えばMPEG方式やデジタルビデオフォーマットなどの所望の方式によりエンコードし、そのエンコード後のA/Vデータをマルチプレクサ12に送る。

【0028】

また、プログラムデータ発生部14は、上記エンコーダ11でエンコードされたA/VデータをDSPにてデコードする際に必要となるプログラムデータを、タイミングコントローラ16から供給されタイミング信号に応じて発生する。当該プログラムデータは、マルチプレクサ12に送られる。

【0029】

マルチプレクサ12では、上記エンコーダ11からのエンコードされたA/Vデータと上記プログラムデータ発生部14からのプログラムデータとを、タイミングコントローラ16からのタイミング信号に応じてマルチプレクスし、テープ記録部13に送る。

【0030】

テープ記録部13には、磁気テープカセット2が装填されており、上記マルチプレクサ12から供給されたデータを、上記磁気テープカセット2内の磁気テープに記録する。これにより、磁気テープには、前記図2に示したようにAUXデータ領域r1にプログラムデータが記録され、A/Vデータ領域r2にエンコードされているA/Vデータが記録されることになる。言い換えると、マルチプレクサ12では、上記AUXデータ領域r1にプログラムデータが配置され、A/V

Vデータ領域 r 2 にエンコードされた A/Vデータが配置されるように、上記エンコードされた A/Vデータと上記プログラムデータとをマルチプレクスしている。

【0031】

なお、デコードプログラムは、複数トラックにまたがる AUXデータ領域 r 1 に記録してもよく、マルチプレクサ 12 は、デコードプログラムが複数トラックにまたがる場合の書式に従い、エンコードされたデータとデコードプログラムとをマルチプレクスする。

【0032】

上述したように、本発明の第 1 の実施の形態では、磁気テープ T 上の各斜め記録トラック R 上の AUXデータ領域 r 1 にプログラムデータを繰り返し記録しているため、当該磁気テープを再生する際に、必ず AUXデータ領域 r 1 上のプログラムデータを得ることができ、したがって、例えば磁気テープの任意の位置から再生を開始したとしても、A/Vデータ領域 r 2 に記録されていた A/Vデータのデコードが可能である。

【0033】

なお、プログラムデータが記録される磁気テープ上の記録領域としては、上記図 2 の AUXデータ領域 r 1 のような特定の領域に限らず、その他の領域、例えば記録データに付随するヘッダ領域などに記録することも可能である。

【0034】

上述した第 1 の実施の形態では、磁気テープの記録領域上にプログラムデータを記録する例を挙げたが、第 2 の実施の形態として、例えば、着脱可能な半導体メモリ装置や磁気テープカセットに付随した半導体メモリなどの外部メモリに、上記プログラムデータを記憶させておくことも可能である。

【0035】

図 4 には、本発明の第 2 の実施の形態の再生装置の概略構成を示す。

【0036】

この図 4 に示す第 2 の実施の形態において、テープ再生部 20 には、記録媒体としての磁気テープカセット 22 が収納されている。当該磁気テープカセット 2

2 内の磁気テープ上には、斜め記録トラックが形成されており、各斜め記録トラックには例えば M P E G 方式やデジタルビデオフォーマットなどによりエンコードされたオーディオ／ビデオデータが記録されている。

【 0 0 3 7 】

また、テープ再生部 2 0 には、例えば、着脱可能な半導体メモリ装置や磁気テープカセットに付随した半導体メモリなどの外部メモリ 2 1 が配されている。当該外部メモリ 2 1 には、上記磁気テープに記録されている上記エンコードされた A/V データをデコードするために必要なプログラムデータが書き込まれている。

【 0 0 3 8 】

テープ再生部 1 は、上記磁気テープ上の斜め記録トラックに記録されている、エンコードされた A/V データを再生し、D S P 3 3 に供給する。

【 0 0 3 9 】

一方、この第 2 の実施の形態の場合、外部メモリ 2 1 に保持されているプログラムデータは、メモリ読取部 2 5 が読み取る。メモリ読取部 2 5 が外部メモリ 2 1 から読み取ったプログラムデータは、コントローラ 2 4 に送られる。

【 0 0 4 0 】

コントローラ 2 4 は、メモリ読取部 2 5 から供給されたプログラムデータを、D S P 2 3 に対して実装する。

【 0 0 4 1 】

これにより、D S P 2 3 では、上記テープ再生部 2 0 にて磁気テープから再生された、エンコードされている A/V データを、上記プログラムデータに応じてデコードすることが可能となる。当該 D S P 2 3 にてデコードされた A/V データは、端子 2 6 から後段の構成に送られる。

【 0 0 4 2 】

図 5 には、上述したように、エンコードされた A/V データを磁気テープ上に記録し、また、外部メモリ 2 1 に上記プログラムデータを書き込む、本発明の第 2 の実施の形態の記録装置の概略構成を示す。

【 0 0 4 3 】

この図 5 において、端子 3 0 にはエンコード前の A / V データが入力され、当該 A / V データはエンコーダ 3 1 に送られる。

【 0 0 4 4 】

エンコーダ 3 1 では、上記 A / V データを前述したように例えば M P E G 方式やデジタルビデオフォーマットなどの所望の方式によりエンコードし、そのエンコード後の A / V データをテープ記録部 3 3 に送る。

【 0 0 4 5 】

テープ記録部 3 3 には、磁気テープカセット 2 2 が装填されており、上記エンコーダ 3 1 から供給されたデータを、上記磁気テープカセット 2 2 内の磁気テープに記録する。これにより、磁気テープには、エンコードされた A / V データが記録されることになる。

【 0 0 4 6 】

また、テープ記録部 3 3 には、例えば、着脱可能な半導体メモリ装置や磁気テープカセットに付随した半導体メモリなどの外部メモリ 2 1 が配されている。

【 0 0 4 7 】

一方、プログラムデータ発生部 3 4 は、上記エンコーダ 3 1 でエンコードされた A / V データを D S P にてデコードする際に必要となるプログラムデータを発生する。当該プログラムデータは、メモリ書込部 3 5 に送られる。

【 0 0 4 8 】

メモリ書込部 3 5 は、上記外部メモリ 2 1 に対して上記プログラムデータを書き込む。

【 0 0 4 9 】

なお、外部メモリ 2 1 は、その形式によりプログラムの記録方法が異なる。つまり、マスク ROM の場合は半導体製造過程で記録され、フラッシュメモリ、強誘電体メモリ、E E P R O M の場合は半導体製造後にそれぞれのメモリ形式に従った記録装置で記録する。

【 0 0 5 0 】

上述したように、本発明の第 1 の実施の形態では、着脱可能な半導体メモリ装

置や磁気テープカセットに付随した半導体メモリなどの外部メモリ 21 にプログラムデータを記憶させているため、磁気テープを再生する際に、当該外部メモリ 21 からプログラムデータを読み取ることで、磁気テープに記録されている A/V データのデコードが可能となる。

【0051】

第 1, 第 2 の実施の形態では、エンコードされている A/V データの記録媒体として磁気テープを使用した例を挙げたが、記録媒体としてはディスク状の記録媒体も使用可能である。

【0052】

図 6 には、記録媒体としてディスク状記録媒体（以下、単にディスクと呼ぶ）を使用した本発明の第 3 の実施の形態の再生装置の概略構成を示す。

【0053】

この図 6 に示す第 2 の実施の形態において、ディスク再生部 41 には、記録媒体としてのディスク 42 が収納されている。当該ディスク 42 には、同心円状若しくはスパイラル状の記録トラックが形成されており、記録トラックには例えば MPEG 方式やデジタルビデオフォーマットなどによりエンコードされたオーディオ/ビデオデータが記録されている。また、このディスク 42 の特定の領域（例えばディスク最内周など）には、当該ディスク 42 の記録トラックに記録されている上記エンコードされた A/V データをデコードするために必要なプログラムデータが記録されている。

【0054】

ディスク再生部 41 は、先ず、上記ディスク 42 の上記特定の領域に記録されているプログラムデータを再生し、そのプログラムデータをプログラムデータ読取部 45 に供給する。当該プログラムデータ読取部 45 に供給されたプログラムデータは、コントローラ 44 に送られる。

【0055】

コントローラ 24 は、プログラムデータ読取部 45 から供給されたプログラムデータを、DSP 43 に対して実装する。

【 0 0 5 6 】

次に、ディスク再生部 4 1 は、上記ディスク 4 2 の記録トラックから、上記エンコードされている A/V データを再生し、DSP 4 3 に供給する。

【 0 0 5 7 】

これにより、DSP 4 3 では、上記ディスク再生部 4 1 にてディスク 4 2 から再生された、上記エンコードされている A/V データを、上記プログラムデータに応じてデコードすることが可能となる。当該 DSP 4 3 にてデコードされた A/V データは、端子 4 6 から後段の構成に送られる。

【 0 0 5 8 】

図 7 には、上述したように、エンコードされた A/V データをディスク 4 2 上に記録し、また、当該ディスク 4 2 の特定の領域に上記プログラムデータを書き込む、本発明の第 3 の実施の形態の記録装置の概略構成を示す。

【 0 0 5 9 】

この図 7 において、プログラムデータ発生部 5 4 は、上記エンコーダ 5 1 でエンコードされた A/V データを DSP にてデコードする際に必要となるプログラムデータを発生する。当該プログラムデータは、ディスク記録部 5 3 に送られる。

【 0 0 6 0 】

当該ディスク記録部 5 3 には、ディスク 4 2 が装填されており、プログラムデータ発生部 5 4 から供給されたプログラムデータを、コントローラ 5 6 からの制御の元で、上記ディスク 4 2 の特定の領域に記録する。

【 0 0 6 1 】

また、端子 5 0 にはエンコード前の A/V データが入力され、当該 A/V データはエンコーダ 5 1 に送られる。

【 0 0 6 2 】

エンコーダ 5 1 では、上記 A/V データを前述したように例えば MPEG 方式やデジタルビデオフォーマットなどの所望の方式によりエンコードし、そのエンコード後の A/V データをディスク記録部 5 3 に送る。

【0063】

このときのディスク記録部53では、上記エンコーダ51から供給されたデータを、コントローラ56からの制御の元で、上記ディスク42に記録する。これにより、ディスク42には、エンコードされたA/Vデータが記録されることになる。

【0064】

上述したように、本発明の第3の実施の形態では、ディスク42の特定の領域にプログラムデータを記録しているため、このディスク42を再生する際に、当該ディスク42の特定の領域からプログラムデータを読み取ることで、ディスク42に記録されているA/Vデータのデコードが可能となる。

【0065】

以上説明したように、本発明の各実施の形態によれば、DSPの仕様に合致するエンコード方式（圧縮等の方式）を、エンコードされたA/Vデータと共に記録媒体（或いは外部メモリ）に記録することで、将来開発されるであろう未知のエンコード方式やバージョンアップされた方式にも対応が可能となる。

【0066】

なお、上述した実施の形態では、再生装置又は記録装置を例に挙げたが、記録再生の両機能を備えた記録再生装置にも本発明は適用可能である。

【0067】

【発明の効果】

以上の説明で明かなように、本発明においては、記録媒体に記録されている信号を処理する際に使用するプログラム情報を、記録媒体内に記録或いは記録媒体に付随した記憶手段に記憶させ、そのプログラム情報に基づいて、記録媒体から再生した信号に信号処理を施すことにより、記録媒体に記録されている信号が、例えば、様々な異なるエンコード方式やバージョンアップされたエンコード方式によるエンコードデータであっても、簡単かつ低コストでデコードすることが可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明の第 1 の実施の形態の再生装置の概略構成を示すブロック回路図である。

【図 2】

プログラムデータの記録場所の一例として、磁気テープの A U X データ領域を使用した場合の説明に用いる図である。

【図 3】

本発明の第 1 の実施の形態の記録装置の概略構成を示すブロック回路図である。

【図 4】

本発明の第 2 の実施の形態の再生装置の概略構成を示すブロック回路図である。

【図 5】

本発明の第 2 の実施の形態の記録装置の概略構成を示すブロック回路図である。

【図 6】

本発明の第 3 の実施の形態の再生装置の概略構成を示すブロック回路図である。

【図 7】

本発明の第 3 の実施の形態の記録装置の概略構成を示すブロック回路図である。

【図 8】

従来の再生装置の概略構成を示すブロック回路図である。

【符号の説明】

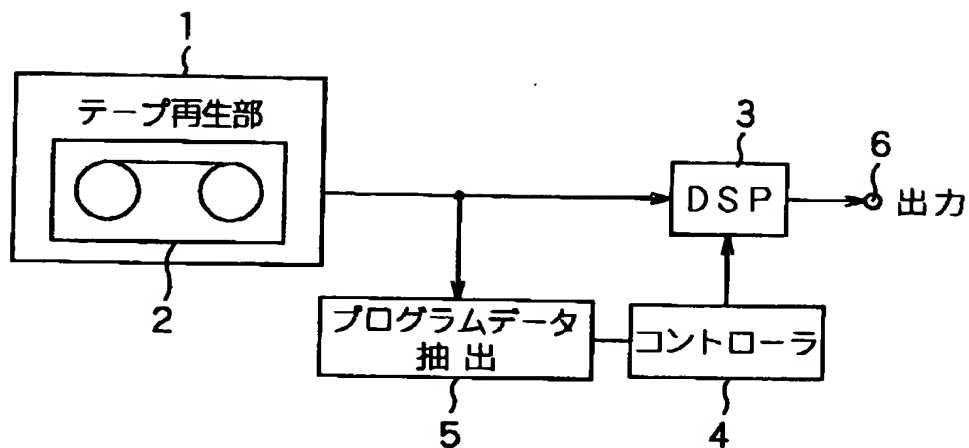
1, 2 0 テープ再生部、 2, 2 2 磁気テープカセット、 3, 2 3, 4
3 D S P、 5 プログラムデータ抽出部、 4, 2 4, 4 4, 5 6 コント
ローラ、 1 1, 3 1, 5 1 エンコーダ、 1 2 マルチプレクサ、 1 4,
3 4, 5 4 プログラムデータ発生部、 1 6 タイミングコントローラ、 2



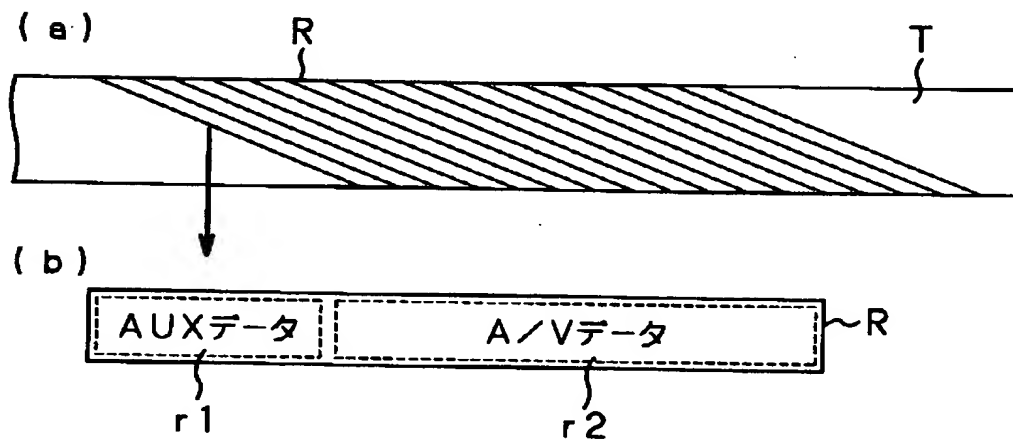
1 外部メモリ、 2 5 メモリ読取部、 3 5 メモリ書込部、 4 5 プロ
グラムデータ読取部

【書類名】 図面

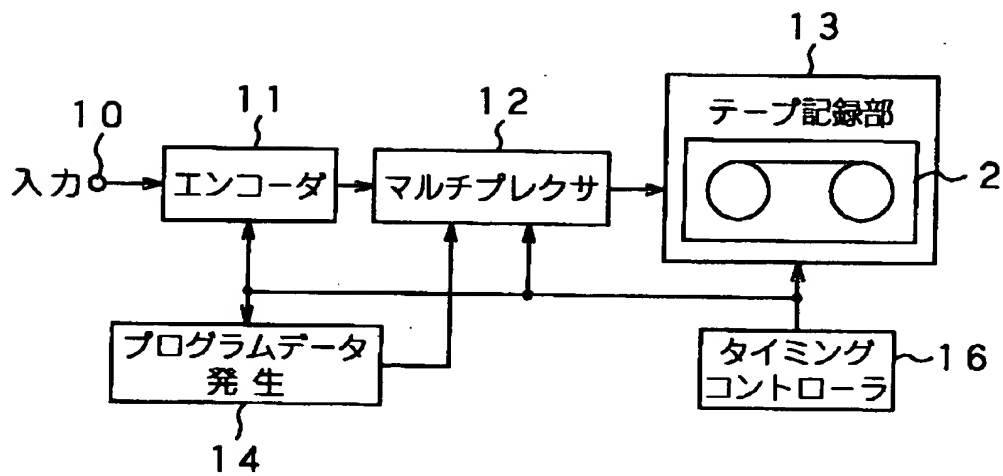
【図 1】



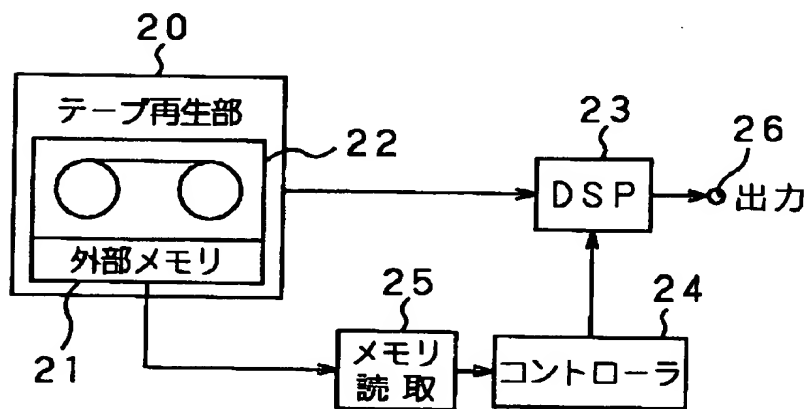
【図 2】



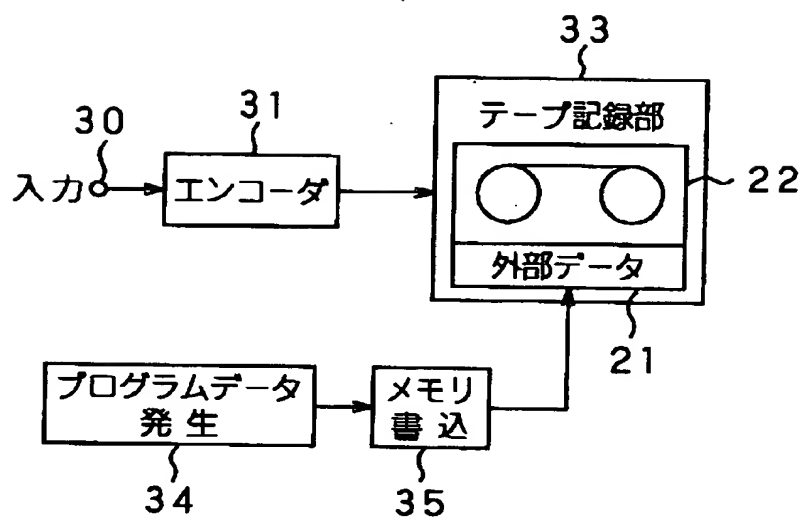
【図 3】



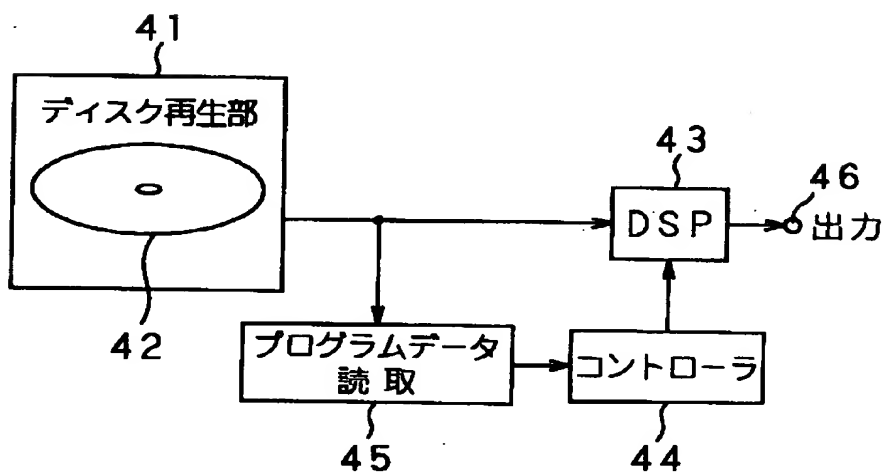
【図 4】



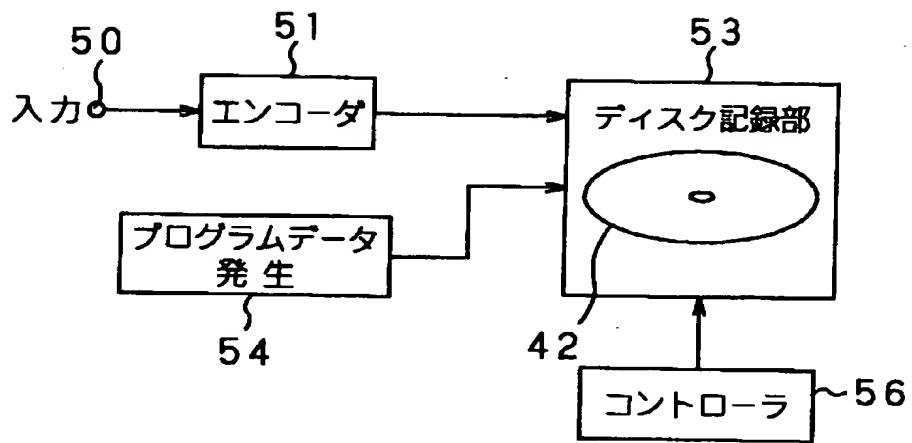
【図 5】



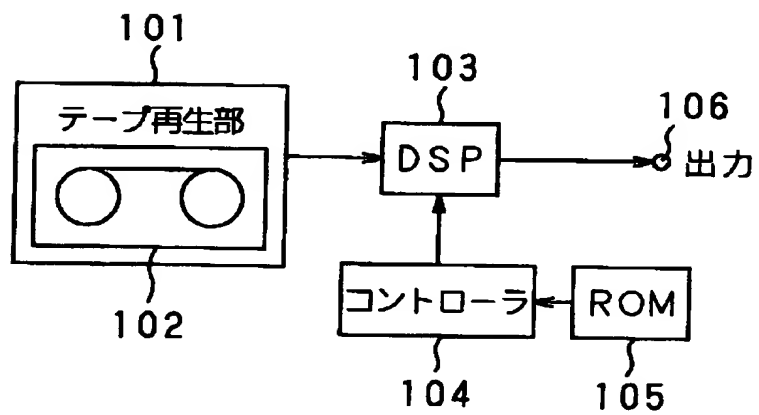
【図 6】



【図 7】



【図 8】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 例えば、様々な異なるエンコード方式やバージョンアップされたエンコード方式によるエンコードデータであっても、簡単かつ低コストでデコードすることを可能とする。

【解決手段】 テープ再生部 1 では、磁気テープからエンコードされている A/V データを再生すると共に、同じく磁気テープに記録されているプログラムデータを再生する。プログラムデータ抽出部 5 では、磁気テープから再生された信号よりプログラムデータを抽出する。コントローラ 4 は、プログラムデータを DSP 3 に実装する。DSP 3 は、プログラムデータに基づいて動作し、エンコードされている A/V データをデコードする。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000002185]

1. 変更年月日	1990年 8月30日
[変更理由]	新規登録
住 所	東京都品川区北品川6丁目7番35号
氏 名	ソニー株式会社